

森林・農業班 C

東南アジア大陸部北部における民族間関係と各民族の経済ネットワーク

桎永真佐夫（国立民族学博物館）

キーワード：民族間関係、経済ネットワーク、移住

The inter-ethnic relation and the economic network of each ethnic group in the northern Southeast Asia

KASHINAGA Masao (National Museum of Ethnology)

Keywords: interethnic relation, economic network, migration

要旨

水田が広がり、高床式の木造家屋がならぶ東南アジア北部内陸部には、衣装も言語もふるまいも異なるたくさんの民族が居住している。この地域では高度別に民族がすみわけていることが古くから知られてきた。この民族のすみ分けの現状とその歴史的背景について考えたい。

かつての照葉樹林文化論においてユーラシア照葉樹林帯の文化要素としてあげられた各要素は、照葉樹林帯の南縁である熱帯モンスーン帯にも顕著に見られる。タイ系、モン・クメール語系、チベット・ビルマ系その他の諸言語を話す民族集団が混交して居住しているこの地域の民族分布を、研究者たちは、各民族が地勢に応じて異なった生業経済を営みながら高度別に住み分けているというモデルで語ってきた。実際、ベトナム西北部を例に取れば、タイ系の盆地民である黒タイや白タイの人々自身が、高地のモン（苗）、扇状地上部山腹のモン・クメール系サー、盆地の黒タイ・白タイという民族分布が存在すること、それぞれの経済活動に基づき他の民族と関係しあっていることを認識している。また、このような民族間の経済的、社会的な関係性に応じて、民族ごとに他者認識のありようも異なっている。

こうした民族のすみ分けモデルによる民族分布の構図は、19 世紀末には欧米の研究者によってすでに見いだされていたが、この民族すみわけ状況も当時までの歴史的な産物であった。さらに、20 世紀以降は戦乱や政策の変化に基づく大規模な移住、人口増加、生態環境の変化を経て、もはや単純に、盆地民・中腹民・高地民という民族すみ分けの構図で民族間関係を見ることが難しくなっている。また、ある民族がある政治的、経済的、社会的立場にあるということもいなくなってきた。2004 年度の研究においては、こうした民族分布の現状を念頭に置きながら、ベトナム西北地方トゥアンザオにおける民族間関係を例に、19 世紀の植民地期から現在まで、どのような経済的、政治的背景に基づいて当地の民族すみ分けの状況が形成、維持されてきたのか文献などから考察した。また、高地の焼き畑民とされてきた蒙の経済活動が、盆地の黒タイなどのみならず、漢族などによる広域な流通路とも結びついて、商品経済と密接に結びついた生業活動を展開してきたことを指摘した。この民族すみ分けの現状に関する考察が、ベトナム西北地方に隣接し、同じく熱帯モンスーンに位置する北ラオス各地におけるモデルとして適応可能かどうかは、今後の研究の課題である。

2005 年度はラオスでの本格的な調査は予定していないが、2004 年度の研究をふまえ、盆地民とされてきたタイ系民族の黒タイを中心に、黒タイの生業経済がどのような経済的ネットワークと関わって変化し、維持されてきたのか、過去 50 年にわたって文献などから考察したい。その場合、どのような広域な流通路を、どのような物資を、誰が運搬し、誰が消費してきたのかにも注目したい。この研究は、2006 年度を中心に予定しているラオス、フアパン県のチエン・コー、ムアン・エットにおける黒タイ村落において、伝統的な物質文化がどのように継承されているかに関する調査につながる。調査地の黒タイの人々が、どのような経済的、社会的ネットワークを結

びながら、現在の生業を営み、ある面で伝統を維持しているのかが考察される予定である。

Summary

In the wide area of the Northern Indo-China, many ethnic groups are living with their own language and wearing. As many researchers have already pointed out, we can seem to understand the ethnic distribution depending on the altitude of villages of each ethnic group and the subsistence economy in this area. But the inclination of this ethnic distribution is also the historical, political and economical product. Further it' s getting more difficult to understand the contemporary situations of the ethnic distribution in relation to the altitude because of the repeated migrations and the increase of population since the mid-20th century. Therefore, in 2004, I considered the ethnic distribution and the inter-ethnic relation of Tuan Giao district of Dien Bien province of Vietnam from the lowlander, Tai Dam' s perspective by focusing on their social and economical network.